

Campus Topics

MDDロボットチャレンジを通じて

伊藤 英樹 (数理情報学部情報通信学科4年)

MDDロボットチャレンジとは、情報処理学会の組込みシステム研究会が主催する組込みシステムシンポジウムの特別企画であり、小型飛行船を制御するシステムを開発し組込みソフトウェア開発の基礎を学ぶ機会を提供しています。

私たちは卒業研究の一環として、このMDDロボットチャレンジの自動航法競技に参加しました。自動航法競技とは、飛行船を自動制御し通過点を通り目的地に到達するまでの動作を評価する競技であり、風や気温などの影響を受けやすい飛行船を適切に自動制御することが求められます。開発過程には、ソフトウェアの設計、実装とハードウェアの組み立てがあり、チーム全員が開発初体験であったので、スケジュール通りに作業が進まず大変苦労しました。特にソフトウェア設計は卒業研究の目的でもあり、先生方からのご指導をいただきながら何度も

再設計を行い、試行錯誤を繰り返しました。自動航法競技には、要求をきつぎどの順番にソフトウェア開発を行うかを表現したモデルの審査があり、私たちはアスペクト指向と呼ばれる新しい技術を取り入れた設計を行いました。この取り組みと今後の発展に期待され、モデリング奨励賞をいただけたと考えています。

チーム開発を通じて、作業分担を行い理解や結果などをチーム内で共有することが非常に大切であることを学びました。と同時に、実際にそれを行うことや締め切りを意識して開発を行うことの困難さを痛感しました。また勉強会等では社会人の方々と交流でき、実際の開発現場における生の声を聞くことで貴重な経験をすることができました。

卒業研究を通じて経験した喜びや苦労は、自分の夢である「技術者」としての期待と課題に繋がりに夢を膨らませることとなりました。



International Friendship

World Plaza Day -国際交流に必要なものとは-

栗本 拓 (総合政策学部総合政策学科2年)

2008年12月6日名古屋キャンパスのWorld PlazaにおいてWorld Plaza Dayが開催されました。このイベントは、南山の環境を活かせばもっともっと国際交流ができる、また国際交流をする上で何が必要なのか、ということ講師の方をお招きしてゲームやグループワークを通じて体験し考えるものでした。

当日は、留学生、日本人学生、ホストファミリーの方など、たくさんの方に参加していました。イベントの前半では、アメリカ、ロシア、インドネシア、中国など異なる文化背景を持った人や世代の違う人たちと一緒にゲームを行い、「違いを越えた交流」に必要なものに気づききっかけを得ました。後半ではグループにわかれ、国際交流の促進に必要なものについてディスカッションをし、最後にポスター発表を行いました。私の所属したグループでは、南極という閉ざされた場所に様々な国の人が限られた資源を持ち込み、1ヶ月間お互いに協力して生きていく環境を作り出すという案を企画しました。他のグループからは、新しく国際交流

学部を創設して様々な国から学生を募集し共同生活を行うものなど様々なアイデアがでました。こうしたポスター発表、その後行った質疑応答や意見交換を通して国際交流についての理解を深めました。

私はスタッフという立場で参加しましたが、このイベントで行われる一つひとつのことが発見でした。国際交流をする上で必要なのは、言語だけでなく文化の多様性をお互いに譲るることができるかということ。異質なものを排除するのではなく、お互いの違いを喜びあえる心こそ真の国際交流を可能にしてくれるということを感じました。このイベントを通じて、南山大学のキャンパスを見渡せば留学生と日本人学生が一緒に食事をしたり、勉強したり、会話をしむ光景がもっと広がればよいなと思いました。

私は、将来エアラインパイロットを目指していますが、このイベントで学んだ国際交流を活かして世界に貢献できるパイロットになりたいと思います。



行事

2009年度入学式	4月1日(水)	場所:日本ガイシホール
フレッシュマン祭	4月2日(木)、3日(金)、6日(月)~8日(水)	場所:名古屋・瀬戸キャンパス
CJSフェスタ	4月13日(月)、14日(火)、16日(木)、17日(金)	場所:名古屋キャンパス
外国人留学生別科2008-2009修了式	5月23日(土)	場所:名古屋キャンパス
第50回記念 上智大学・南山大学 総合対抗運動競技大会	6月5日(金)~7日(日)	会場校:上智大学

ミシュレと19世紀フランス歴史学

真野 倫平

私は19世紀フランスの歴史家ジュール・ミシュレ(1798-1874)の研究をしている。2000年には「フランス史」についての博士論文をパリ第8大学に提出し、2008年には藤原書店より著書「死の歴史学 ミシュレからフランス史」を読む」を上梓した。さらに昨年が1年間の在外研究の機会を得、目下パリ第7大学において研究を続けている。ここでは上記の著書をもとに私の研究について簡単に語ることにする。

19世紀、覇権を握ったブルジョア階級は、自らを主人公とする新しい歴史記述を探し求めた。それは従来の王権を中心とした「王国の歴史」ではなく、第三身分(平民)を主人公とした「国民の歴史」でなければならなかった。ミシュレもまたこの課題を引き受け、それはやがて27巻に及ぶ「フランス史」に結実することになる。とはいえ40年にわたって執筆されたこの作品を一口で説明するのは容易ではない。ミシュレの初期作品はおおむね、当時の支配的な



パリ第7大学

まのりんべい
外国語学部フランス学科准教授

専攻分野は「フランス文学、歴史」。長期研究テーマは「19世紀フランス歴史学」。短期研究テーマは「ミシュレの歴史学への応用」。主な著書「死の歴史学 ミシュレからフランス史」(藤原書店、2008年)。

歴史哲学—ブルジョア社会を到達点とする予定調和的な進歩主義—の影響下にある。しかしやがてミシュレが同時代の政治変動に巻き込まれ、歴史の不条理に直面するにつれ、その歴史観は変貌してゆく。

私は本書において、ミシュレの変貌を数多くの「死の物語」を通して示そうと試みた。例えば初期の「中世史」におけるジャンヌ・ダルクの死はキリストの受難の再現であり、死を通して復活に至るという予定調和的図式に基づいている。しかし後の「フランス革命史」におけるロベスピエールの死は乱暴に中断された受難であり、歴史の不条理や暴力性を暗示している。そして晩年の諸巻においては、即物的な死の物語が延々と続けられることにより、歴史の断絶がさらに強調されている。このように、ミシュレの歴史においては物語形式それ自体が重要な意味作用を担っており、ヒストリオグラフィー(歴史記述)の問題を考える上できわめて興味深いものとなっている。

私の研究

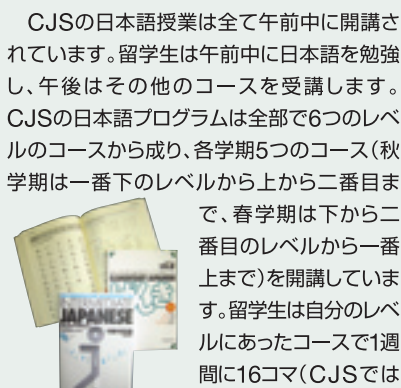
外国人留学生別科(CJS)の日本語授業

六川 雅彦

私は人文学部日本文化学科の所属ですが、外国人留学生別科(Center for Japanese Studies;通称CJS)の日本語授業も担当しています。今回はそのCJSの日本語授業を紹介いたします。

キャンパスでCJS生を見かけたことがあるとは思いますが、CJSについて知らぬ方も多いと思いますので、まずCJSについて簡単に紹介します。CJSは主に海外の協定校から留学生を受け入れており、2009年1月現在22の国と地域からの学生135名が学んでいます。毎年アメリカからの学生が全体の約60%で、今年度もアメリカ同様9月に始まり5月に終わります。その他アジアからの留学生が25%、ヨーロッパからの留学生が15%で、留学生がCJSで学ぶ期間は最長2年、最短1学期です。

CJSの日本語授業は全て午前中に開講されています。留学生は午前中に日本語を勉強し、午後はその他のコースを受講します。CJSの日本語プログラムは全部で6つのレベルのコースから成り、各学期5つのコース(秋学期は一番下のレベルから上から二番目まで、春学期は下から二番目のレベルから一番上まで)を開講しています。留学生は自分のレベルにあったコースで1週間に16コマ(CJSでは



むつかわまさひこ
人文学部日本文化学科講師

専攻分野は「言語学、日本語教育」。長期研究テーマは「日本語の発音に関する研究」とその日本語教育への応用」。短期研究テーマは「日本語の外来語に関する音韻的研究」「語と意味に関する研究」。主な著書は「言語学と日本語教育」(共著、くろしお出版、2005年)。主な担当科目は「日本語教育法」(日本語教育法)。

日本語授業のみ1コマ45分)日本語を勉強するとともに、CJSには多くの先生がおり、2名以上の教員がチームを組んで1つのレベルのコースを教えています。また、基本的に1クラス15名以下になるようにセクション分けされています。

CJSの日本語授業は集中コースとして有名で海外でもよく知られています。ほぼ毎日小テストやテストなどがあるため、留学生は授業以外でも毎日2~3時間程度日本語を勉強しているようです。また、授業内容も日本の中学・高校での英語の授業とは全く異なり、4技能(聞・話・読・書)が伸ばせるようにデザインされています。留学生と話した時に留学生の日本語のコミュニケーション能力が高いと感じるのはこのためです。

CJSの日本語授業では、定期的に授業に参加してもらったり、日記やメールをやり取りする相手になってもらったり、日本人学生に協力をお願いすることも多くあります。参加してもらう日本人学生の募集はメーリングリストを通じて行っていますので、興味のある方は是非登録しておいてください。登録は国際教育センター(第2研究室棟の1階奥)で受け付けています。

私のクラス

Information

◆2008年度学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

【個人】16名

学生氏名	クラブ名(男女別)	対象となる主な活動
鈴木裕也	硬式庭球部(男子)	第68回東海学生テニス選手権大会 男子シングルスベスト16・ダブルスベスト4
東賢太郎	硬式庭球部(男子)	第58回東海学生新進テニストーナメント大会男子シングルス準優勝
尾堂真美	硬式庭球部(女子)	第43回東海学生選抜室内テニス選手権大会女子シングルスベスト8
岩田友治	弓道部(男子)	第45回東海学生弓道新人戦個人優勝
藤井ななみ	弓道部(女子)	第41回東海学生弓道女子六十射会決定戦5位・連中賞
櫻井孝明	陸上競技部	第74回東海学生陸上競技対校選手権大会8位
牧野浩介	漕艇部	第35回全日本大学選手権大会シングルスカル8位
水野雄介	水泳部	第84回日本学生選手権水泳競技大会出場
宮本泰輔	ソフトボール部(男子)	第7回大学ソフトボール東海オープン打率1位(大会新記録)
荻田悠介	ソフトボール部(男子)	東海テレビ杯平成20年度春季第62回東海地区大学男子ソフトボール選手権1部リーグ首位打者賞
山田洋平	洋弓部(男子)	東海学生アーチェリーフィールド選手権大会2位
丹羽宗一郎	洋弓部(男子)	東海学生アーチェリーフィールド選手権大会3位
長谷川雅敏	洋弓部(男子)	東海学生アーチェリー個人選手権大会 本選トーナメントラウンド8位
高木麻衣	洋弓部(女子)	東海学生アーチェリー選抜選手権大会本戦2位
松芳紗希	洋弓部(女子)	東海学生アーチェリーフィールド選手権大会3位
前田成美	洋弓部(女子)	東海学生アーチェリー新人選手権大会未経験者部門1位

【団体】9団体

クラブ名(男女別)	対象となる主な活動
洋弓部(男子)	東海学生アーチェリー王座出場校決定戦本戦団体1位
陸上競技部	第27回浜松中日カーニバル招待陸上競技大会 一般男子の部4×400mリレー8位(3分19秒57、本学歴代新記録樹立)
弓道部(女子)	第19回東海学生弓道女子新人戦女子団体優勝
硬式庭球部(女子)	平成20年度全日本大学対抗テニス王座決定試合東海地区予選・東海大学対抗テニスリーグ戦1部リーグ3位(1部残留)
管弦楽団	第87回、第88回定期演奏会および第19回降誕祭
チアリーダーズ RUSTLES	中部選手権大会自由演技2位、規定演技2位 JAPANCUP2008 日本選手権大会14位
漫画研究会	愛知県警のメールマガジン「ネットあいち」マスコットキャラクターに漫画研究会作成の「バネくん」が正式採用
ボランティアサークル	社会貢献としての多岐にわたるボランティア活動
有志団体 The Others	文化・ボランティア・国際協力などの活動

◆緊急地震速報装置設置

2008年11月1日より南山学園のすべての単体校に緊急地震速報装置が設置され、学園一斉運用が開始した。大学ではこの一斉運用開始を受けて、緊急地震速報の存在を意識し緊急時に備えることを目的として、2009年1月15日テスト放送を実施した。本学における基本設定では、震度4以上の地震波を感知した場合にサイレン音とともに男性の声で「地震波を感知しました。落ち着いて安全な所で待機してください。」と2回アナウンスされる。



南山大学

発行 学長室
〒466-8673 名古屋市中区山手町18
Phone : 052-832-3113(直通)
E-mail:gaku-koho@nanzan.ac.jp
http://www.nanzan-u.ac.jp/

南山大学広報誌

NANZAN bulletin vol.168 2009.3.20



Special events

1.6-7 2.2-3 2.17-18

学内会社説明会

キャリア支援室では今年度も学内会社説明会を開催した。これは本学の学生のみを対象に毎年開催しているもので、名古屋キャンパス253社、瀬戸キャンパス89社の企業採用担当者により積極的な会社PRが展開された。

1.23

ジェームス・P・ズムワルト 駐日米国大使館臨時代理大使 本学表敬訪問

1月23日、ジェームス・P・ズムワルト駐日米国大使館臨時代理大使が本学を表敬訪問された。ジェームス・P・ズムワルト氏は2009年1月15日、トーマス・シーファア前大使の離任後に駐日臨時代理大使となられ、本学へは同職就任直後の訪問となった。

ハンス・ユージェン・マルクス南山学園理事長らと歓談された後、本学外国語学部英米学科の学生約30名との懇談会が開催され、バラク・オバマ新大統領に関することなど、活発な意見交換が行われた。



南山のDNA

扉が開くときはいつもひとりじゃない

横井 綾子 外国語学部英米科(現英米学科) 1999年卒業

南山高等学校女子部から南山大学へ卒業後テレビ局にアナウンサーとして勤務。現在フリーアナウンサーとして名古屋で活動し、企業のVP(ビデオパッケージ)やCM(コマmercial)のナレーターとしても活躍中。

各方面で活躍する本学卒業生をリレー形式で紹介していくブレイク版「南山のDNA」シリーズ、第4回となる今回は、フリーアナウンサーとして活躍の横井綾子さんです。

卒業して10年、名古屋キャンパスのグリーンエリアでマイクをにぎり、大学祭を盛り上げた日をふと思い出します。今日まで壁にぶつかっては扉を探し、開いては途方に暮れた連続でした。

私が南山大学に入学したのは南山の女子部からの推薦なのですが、入学するときのちょっとした夢「大学祭でミス南山コンテストがあるらしい。その司会をしたい!」そんな思いからミスコンテストを主催するNBC南山放送というクラブに加入しました。そして入部と同時にクラブの先輩の紹介でテレビ局のアルバイトをはじめました。大学1年から4年まで毎週土曜、朝5時NHKのスタジオへ。南山生というだけで学生でありながら目の前でテレビ番組作りを体感できたのです。その後私はこのテレビ番組作りを通して画面に映るアナウンサーに憧れるようになりました。卒業後、私はテレビ愛知で憧れであった

■「働く現場見学ツアー」

キャリア支援室では、2008年11月、12月に3回に分けて、各界で活躍する卒業生の働く現場の見学ツアーを実施した。今年度は合計197名の参加があり、マスコミ、メーカーなど計8社を見学し、先輩方から各会社における働きがい、社会人としての心構えなどについて話を伺った。

「働く現場見学ツアー」2008年度実施企業
(株)ZIP-FM、(株)JALSカイン名古屋、タキヨー(株)トヨタテクノロジカルデバイス(株)東、(株)名古屋観光ホテル名古屋テレビ放送(株)、(株)富士通中部システムズ(株)ミツカングループ本社

■2009年度キャリアサポートプログラム

本学では学生のキャリア形成支援のために、1年次からキャリアサポートプログラムを実施している。このプログラムは自由参加型で、希望者は無料で参加することができる。

キャリアサポートプログラム2009春(予定)

5/27	春学期講演会(名古屋キャンパス) (瀬戸キャンパスからはシヤトル(ス運行)
6/3	進路ガイダンス(名古屋・瀬戸キャンパス、12年次対象)
6/10	キャリア入門A-先輩と熱く語るうー(名古屋キャンパス)
6/17	キャリア入門A-先輩と熱く語るうー(瀬戸キャンパス)
6/24	一般常識・職務適性テスト (名古屋・瀬戸キャンパス、12年次対象)
7/8	ブラッシュアップセミナー「ビジネスマナー1」 (名古屋・瀬戸キャンパス)
7/15	ブラッシュアップセミナー「ビジネスマナー2」 (名古屋・瀬戸キャンパス)

*その他にも学部・学科企画など随時キャリアサポートプログラムを実施予定。



アナウンサーになりました。中継やバラエティー、4年目にはタワニユースのキャスターを務めました。その後、もっと自分の思いを声で伝えられるようになりたいと、テレビ局で出会った声優の方の紹介で東京のあるナレーターの方に弟子入りしました。最近ではトヨタの新車プレゼンテーションで全国巡業などフリーアナウンサーとして活動し、週末はナレーションの稽古で東京に行き、次の扉を開くため頑張っています。

ミス南山コンテスト開催のチラシを見つけただりから今の私まで、まるでドミノ倒しのようには?ひとつの扉が次の扉を開いてきました。私が扉を開くとき、紹介や推薦やその道の先輩の助けなど必ず誰かの存在がそこにありました。それが次々に繋がって今の私があります。私が卒業のときには就職1就職とゼミの先生には言われませんでした。就職、いや就社よりも手も職、自分は何かできるのか、したいのか、志を高く自由に新しい扉を開いてくださいな。



特集 法曹実務教育研究センター

南山大学の法科大学院棟1階に「法曹実務教育研究センター」がある。この研究センターは、法曹とりわけ弁護士に必要な面接・交渉の技術、調査・分析能力、法廷尋問技術等を向上させるための実践的な教育と研究を行うことを目的としており、理論と実務を架橋する実践的教育研究機関としてその存在は大きい。ここではその活動について紹介しよう。



加藤良夫
法曹実務教育研究センター長
法務研究科(法科大学院)教授
弁護士



士のための尋問研修だったが、法科大学院の学生も多数傍聴するなど熱心に取り組む姿が見られた。

とかく敷居が高いと思われる司法ではあるが、このような公開講演会や公開研修会を通じ、少しでも身近に感じてもらいたい。

リーガルクリニック

法科大学院では将来の法曹(弁護士、裁判官、検察官)を養成している。従来は司法試験に合格してから2年間、司法研修所の司法修習生として実務家になるためのトレーニングを受けていたが、新しい制度になってからは修習期間が1年に短縮されたため、法科大学院において法律基本科目の学習とともに法曹実務の基礎教育の一端を担う必要性が生じることとなった。そこで本学法科大学院では、リーガルクリニック(弁護士が実際の来談者に対して法律相談を行う場に学生も同席し学習する)を設け、正式の単位認定の対象科目ではないが、希望する学生に対してその機会を提供している。こうした法曹実務教育は、将来法曹となることを目指して日夜勉学に励んでいる学生にとって、相談に来られた方の悩み苦しみに共感しそれを受け止め共に考える態度を学ぶ場となっている。それと同時に、学習している法律が実際に活用される場面に出会うことによる勉学へのモチベーションを高める役割も果たしている。

今後も大学関係者はもとより地域の皆様にも広く利用されるリーガルクリニックに発展していくよう努力していきたい。

センターでは、開設準備段階の2007年1月に公開講演会「裁判所から見た医事関係訴訟」を開催したのをはじめとして、「法曹実務教育を考える」(センター開設記念シンポジウム)、「刑事裁判の現場から」、「司法分野の『面接』のあり方を考える」、「裁判官に必要なスキルとマインド」など一般に向けた公開講演会を開催している。

また、一昨年と昨年の12月には、医療過誤問題研究会との共催による公開研修会「模擬医師尋問 一反対尋問を実践的に研修する」を本学模擬法廷において実施し、主眼は若手弁護

紛争解決(ロイヤリング)

本学法科大学院では法曹実務教育の一環として紛争解決(ロイヤリング)という科目を設けている。この科目は、法曹に必要な面接相談や相手方との交渉、依頼者への報告等の基本的な技術、心構えを体験的に学習するので、学生同士がそれぞれ弁護士役または依頼者役となって、ある具体的な事例をもとに模擬相談・模擬交渉等のロールプレイを行う。こうした体験的学習を通して、学生たちは人の話をきちんと聞く態度やコミュニケーション能力等を学んでいく。

学生同士が行うロールプレイ以外に「模擬依頼人」の協力を得る方法もある。この場合には、学外からの「模擬依頼人」にあらかじめ示された具体的な事例について悩んでいる依頼人を演じてもらい、弁護士役となった学生が相談を受ける形で行われる。模擬依頼人参加型のロールプレイは、学生同士で行うロールプレイに比し実際の法律相談により一層近い体験が可能となり学習効果も高い。

こうした模擬依頼人は、時間的に余裕があり法曹養成に関心と情熱のある方であれば一定の訓練を受けることによってどこまででも可能であり、当センターでは、ボランティアで模擬依頼人を引き受けてくださる方々を養成したいと考えている。

法曹実務教育研究センターの今後

司法試験の合格者が増大することに伴い若手弁護士の就職先が見つからないなどの諸問題が顕在化している。将来の実務法曹を輩出する責任を負う法科大学院は、在学生に対する教育にとどまらず、弁護士会等との協力のもと卒業

「リーガルクリニックに参加して」 法務研究科(法科大学院)1年 加藤理由

南山大学法科大学院にはリーガルクリニックが設置されています。これは法科大学院の学生の実務教育の一環として無料法律相談を実施し、その様子を見学させていただくのです。私は今回医療事故相談を見学させていただきました。弁護士は決して相談者とはなく、司法試験に受かった後のポジションを広げることができません。実務教育を通して法曹として大切なマインドを育て、南山大学法科大学院出身の法曹は質がよいと言われるように努力していきたいと思ひます。

後教育のためのプログラムを用意するなど、法曹に対する教育についても一定の役割を担うべきであるといえる。医療事故の被害者など社会的弱者の権利を守る法曹を養成して欲しいという稲垣さんの思いを常に念頭に置いて、今後このセンターの活動が大きく発展していくよう努力していきたい。

(法曹実務教育研究センター長 加藤良夫)



■ 南山大学法曹実務教育研究センター
〒466-8673
名古屋市昭和区山里町18
南山大学 名古屋キャンパス
法科大学院棟(A棟)1階
Phone.052-832-8197 Fax.052-832-8204
E-mail. housou-jitsumu@nanzan-u.ac.jp
URL. http://www.nanzan-u.ac.jp/HOUSOU/

■ リーガルクリニック(無料法律相談)
相談日時:毎月(但し、1月と8月を除く)
第3火曜日の午後2時から午後3時30分、
または午後4時から午後5時30分
(いずれも事前申し込みが必要です。)
場 所:南山大学法科大学院棟(A棟)1階
相談担当:南山大学法科大学院の専任教員(弁護士)または愛知県弁護士会所属弁護士
(南山大学法科大学院実務指導弁護士)
相談内容:医療事故相談、子どもの人権相談のみ受け付けています。

2009年度入試結果

4年連続で志願者数2万人を超える

2009年度入試の志願者数は、一般入試13,842人、センター併用マルチ入試(センター50)4,439人、センター利用入試(センター100)[前期]2,977人となり、3入試の合計で21,258人であった。昨年度からは492人の微減(昨年度比97.7%)となったが、18歳人口が4年前から11万人、昨年から3万人減少している状況の中、センター利用入試(センター100)[後期]の出願受付を前にして、4年連続で志願者数が2万人を超えることとなった。

北海道	3	2	8
	17	15	15
青森	0	0	0
秋田	0	0	0
山形	0	0	2
福島	0	0	1
岩手	1	0	1
宮城	1	0	0
山梨	1	0	0
長野	6	2	7
新潟	3	7	11
富山	5	6	4
石川	7	8	7
福井	1	0	4
岐阜	662	291	259
愛知	3,347	1,235	948
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重	258	157	165
滋賀	13	0	5
京都	1	0	0
和歌山	0	3	0
奈良	0	0	1
徳島	1	0	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	4
愛媛	1	1	1
香川	1	1	1
高知	0	0	2
徳島	3	0	1
和歌山	0	3	0
三重			